## 工学基礎・数学ミニマム テスト 3

次の空欄(番号)に当てはまるものを各々の選択肢から選びなさい.

$$(1) \lim_{h \to 0} \frac{e^h - 1}{h} = \boxed{\mathbf{1}}, \qquad \lim_{h \to 0} \frac{a^h - 1}{h} = \boxed{\mathbf{2}} \ (ただし, a は正の定数とする)$$

(選択肢) ⑩ 0 ① 1 ②  $\infty$  ③  $-\infty$  ④ e ⑤  $\frac{1}{e}$  ⑥ a ⑦  $\log a$  ⑧  $\frac{1}{a}$  ⑨  $\frac{1}{\log a}$ 

(2)  $y=rac{1}{5}x^5-rac{1}{3}x^3$  のグラフは 3. このグラフが x 軸と交わる点は 4 個あり、この関数が極大となる点は 5 個、変曲点は 6 個ある.

(3) x が 0 に近いとき、 $\sin x$  の 1 次近似式は  $\boxed{7}$ 、 $\cos x$  の 2 次近似式は  $\boxed{8}$  であることを使うと、 $\sin x(1-\cos x)$  の 3 次近似式は  $\boxed{9}$  となる.

(選択肢) ① x ① 1+x ② -x ③  $1-x^2$  ④  $1+\frac{1}{2}x^2$  ⑤  $1-\frac{1}{2}x^2$  ⑥  $\frac{1}{2}x^2+\frac{1}{2}x^3$  ⑦  $-x^3$  ⑧  $-\frac{1}{2}x^3$ 

(4) r の 1 変数関数 z=z(r) において, r が x と y の関数 r=r(x,y) であるとき, z は x と y の 2 変数関数 z=z(r(x,y)) となる. このとき, 合成関数の微分法により  $\frac{\partial z}{\partial x}=oxed{10}$  である. 特に  $r=\sqrt{x^2+y^2}$  のとき,  $\frac{\partial z}{\partial x}=oxed{11}$  となる.

(選択肢) ①  $\frac{\partial z}{\partial r} \frac{\partial r}{\partial x}$  ①  $\frac{dz}{dr} \frac{dr}{dx}$  ②  $\frac{\partial z}{\partial r} \frac{dr}{dx}$  ③  $\frac{dz}{dr} \frac{\partial r}{\partial x}$  ④  $\frac{dz}{dr} \frac{1}{2r}$  ⑤  $\frac{dz}{dr} \frac{2x}{r}$  ⑥  $\frac{dz}{dr} \frac{x}{r}$  ⑦  $\frac{\partial z}{\partial r} \frac{x}{r}$  ⑧  $\frac{\partial z}{\partial r} \frac{2x}{r}$  ⑨  $\frac{\partial z}{\partial r} \frac{1}{2r}$ 

- (5)  $I=\int \frac{1}{\sqrt{x}(1+\sqrt{x})}dx$  を計算する.  $\sqrt{x}=t$  とおくと,  $I=\int$  12 dt であるから, I= 13 + C (C は積分定数)となる.
- (選択肢) ①  $\frac{1}{t(1+t)}$  ①  $\frac{2}{t(1+t)}$  ②  $\frac{2}{1+t}$  ③  $\frac{2t}{1+t}$  ④  $\frac{1}{1+t}$
- (5)  $\log(1+\sqrt{x})$  (6)  $\log\frac{\sqrt{x}}{1+\sqrt{x}}$  (7)  $2\log\frac{\sqrt{x}}{1+\sqrt{x}}$  (8)  $2\log(1+\sqrt{x})$
- (9)  $2\sqrt{x} 2\log(1+\sqrt{x})$
- (6) 広義積分  $\int_0^1 \log x dx$  は定義より  $\fbox{14}$  の意味であるから、極限を計算すると  $\fbox{15}$  となる.
- (選択肢) ①  $\lim_{\varepsilon \to +0} \int_{\varepsilon}^{1} \log x dx$  ①  $\lim_{\varepsilon \to +0} \int_{1-\varepsilon}^{1+\varepsilon} \log x dx$  ②  $\lim_{\varepsilon \to -\infty} \int_{\varepsilon}^{1} \log x dx$
- (7) 二重積分  $\iint_D rac{1}{x^2+y^2} dx dy \; (D=\{1 \le x^2+y^2 \le 4\})$  を計算する. 直交座標 (x,y) から極座標  $(r,\theta)$  への変換  $x=r\cos\theta, \, y=r\sin\theta$  を行うと、ヤコビアンは  $\fbox{16}$  となるので、この二重積分を累次積分に書き換えると  $\fbox{17}$  となる.
- (選択肢) ①  $r^2 \sin \theta$  ① 1 ② r ③  $r \sin \theta$  ④  $\int_1^4 \left( \int_0^{2\pi} \frac{1}{r} d\theta \right) dr$
- $\int_{1}^{2} \left( \int_{0}^{2\pi} \frac{1}{r} d\theta \right) dr \quad \text{(6)} \quad \int_{1}^{2} \left( \int_{0}^{2\pi} \frac{\sin \theta}{r} d\theta \right) dr \quad \text{(7)} \quad \int_{1}^{2} \left( \int_{0}^{2\pi} \sin \theta d\theta \right) dr$
- (8)  $z=rac{1}{2}+rac{\sqrt{3}}{2}i$  とするとき,  $|z|=oxed{18}$  である. また,  $rac{1}{z}=oxed{19}$  となり, これを極形式で表すと $oxed{20}$  となる.
- (選択肢) ⑩  $\frac{1}{2}$  ⑪ 1 ② 2 ③  $2+\sqrt{3}i$  ④  $\frac{1}{2}-\frac{\sqrt{3}}{2}i$  ⑤  $1-\sqrt{3}i$
- (6)  $\cos \frac{4}{3}\pi + i \sin \frac{4}{3}\pi$  (7)  $2\left(\cos \frac{4}{3}\pi + i \sin \frac{4}{3}\pi\right)$  (8)  $\cos \frac{5}{3}\pi + i \sin \frac{5}{3}\pi$
- $9 \ 2\left(\cos\frac{5}{3}\pi + i\sin\frac{5}{3}\pi\right)$

(9) 2 行 3 列の行列  $A=\begin{bmatrix}1&-1&2\\1&3&-1\end{bmatrix}$  と 3 行 2 列の行列  $B=\begin{bmatrix}4&3\\1&2\\1&0\end{bmatrix}$  に対して,それらの積 AB は 2 行  $\boxed{21}$  列の行列となり,その (2,1) 成分は  $\boxed{22}$ 

(選択肢) ⑥ 0 ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ -1 ⑨ -2

(10) 行列  $A=\begin{bmatrix}1&0&2\\0&1&-2\\1&2&3\end{bmatrix}$  に対して,行列式 |A| の値は 23 であり,逆行列  $A^{-1}$  の (1,2) 成分は 24 となる.

(選択肢) @ 0 ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ -1 ⑦ -2 ⑧ -3 ⑨ -4

(11) 行列  $A=\begin{bmatrix} -3&2&1\\ -1&0&1\\ -1&1&-1 \end{bmatrix}$  の固有値を計算する. I を単位行列とするとき、固有方程式  $|\lambda I-A|=0$  を解くと、A の固有値は -2 と26 であり,-2 に対する固有ベクトルは27 の定数倍で表される.

(選択肢) ⑥ 0 ① 1 2 2 ③ -1 ④ -2

である.